

衆議院小選挙区
選出議員選挙
(秋田県第2区)

選挙公報

令和8年2月8日執行
秋田県選挙管理委員会

ふるさと秋田を強く、豊かに。
—日本の未来を秋田がたがやす—

防災庁の設置、国土を強くしなやかに

- 防災庁の始動とともに国民の生命と財産を守る「国土の強靭化」を進めます。
- 河川(かわ)づくりは國おさめ。流域治水に取り組み、水防災意識社会を実現します。貯水・利水・大國秋田を目指します。
- 道づくりは國づくり、地域社会や産業構造に新しい役割や機能をプラスする新しい道づくりを進めます。
- 地域連携研究所ネットワークを活用して、県内外の市町村(国内外の自治体)の交流を倍増させます。

日本一の秋田っ子を世界へつなぐ

- 「こども基本法」を軸にした「こども真んなか社会」の実現に取り組みます。
- 優秀な人材の県内教育留学を進めるため、学び立県秋田を国内外に、世界に強力にPR宣伝します。
- 宇宙・航空、医療関連、エネルギー、環境リサイクル分野等で官民連携による魅力的なカリキュラムを作ります。



秋田を支えて来たおばあちゃんおじいちゃんをしっかりと守る

- 人口減少社会でも存続できる、「いつでもどこでも受けられる医療体制づくり」を進めます。
- 県北・県央・県南に集約される二次医療圏において、医療・介護・福祉の連携強化を進め、市町村をつなぐ病院ネットワークを作ります。

※救急医療と一般的な入院治療が完結する区域のこと

- 現場を支える皆さんが誇りと希望を持って取り組める「働き方改革」を実現します。



秋田の産業に

新しい風を吹き込む

- 農林水産物・食品の輸出拡大を支える農業構造転換等に取り組みます。
- 森林(もり)を活かす都市(まち)づくりという時代の要請にしっかりと森林・林業・木材産業の成長産業化を進めます。
- 再生可能エネルギー・環境リサイクル・医療関連等、産業の更なる充実を図り、日本をリードする拠点化を目指します。
- 2つの世界遺産・国立公園・県立自然公園等を活用して、美しい国土づくりや観光まちづくりを進める市町村を応援します。

福原じゅんじ プロフィール

1967年(昭和42年)12月生まれ 秋田県大館市出身

慶應義塾大・法政大卒。平成7年27歳で大館市議に当選。「秋田県北部エコタウン計画」の企画立案を主導。その後、野呂田芳成・金田勝年衆議院議員の政策担当秘書等を務める。平成27年から大館市長として3期9年間にわたり交流人口拡大による地域の活性化に取り組み、忠犬ハチ公を通じた東京都渋谷区との交流促進協定締結や大館駅インランドデボ構造の具体化を図るなど、人流と物流の拠点作りに尽力。一昨年秋の総選挙において衆議院議員に初当選。取り組みを秋田県北部に拡大し、洋上風力発電やリサイクルなど脱炭素の取り組み、人流や物流の重要なインフラとなる道路や空港整備など、国政の立場から地域経済の発展に全力を注いでいる。趣味:ランニング、読書、模型、ドライブ

Profile



自民党公認

福原じゅんじ



暮らしの安心を取り戻す
政治刷新。

暮らしの支援が届かず、北国の事情も無視の国民利益なき解散

「物価高対策が最優先」と言いながら、強行される解散総選挙。国の当初予算の年度内成立を放棄し、4月に地方に届くはずの生活支援のお金も届きません。国民生活を置き去りにしてまで、そして県や市町村が予算編成で最も多忙な時期に選挙事務を強要し、真冬の寒さや大雪で投票に困難や危険が生じるなか解散する利益、大義はありません。従来の政府見解と異なる、高市総理の発言が招いた日中関係悪化とレアースなどの対日輸出規制、「責任ある」とは言えない放漫財政で止まらない円安と物価高の加速、総理が代表を務める政党支部の企業献金問題、21年衆院選で290人の自民党議員が旧統一教会の支援を受けていた問題、与党の地方議員の「国保逃れ」の問題も明らかになり、国会論戦を乗り切ないと判断した、理不尽な解散です。

少数与党だからこそ 実現した政治改革、法案成立

自民党の裏金問題に民意の厳しい審判が下され、衆参で少数与党となって生まれた「熟議の国会」。野党の提案が政策に反映され、わずか1年余りで、政黨が議員個人に支給する「政策活動費」の廃止など一連の政治改革や、半世紀続いたガソリン暫定税率の廃止、能登半島の被災地関連予算の増額の実現など、数々の予算修正や法案を実現できました。再び自民党一強による政権運営となれば、こうした改革は不可能になります。

建設的な国会議論で、 生活に根差した政治を貫きます

暮らしや産業の現場を回る中でお寄せいただいたお声を軸に、国会議員として100回を超える質疑・討論に立たせていただきました。秋田、地方の視点から法律、制度課題を指摘しながら、国の施策の改善につなげてまいりました。お支えいただいていることへの感謝の思いとともに、国民生活の安定のために、多様な民意がバランスよく反映された、現実的で安定感のある政策の実現に全力を挙げてまいります。

緑川たかし

暮らしと中小企業重視の 「底上げ型経済成長」に政治刷新

高市政権の経済政策は「金融緩和なきアベノミクス」であり、円安によるインフレと株高で大企業は利益を上げても、生活者や中小企業にその恩恵は届きません。金利上昇による財政の圧迫で政策の自由度が失われ、弱い立場の方々へのしわ寄せとなるでしょう。求められるのは、国民の分断や対立をあおる政策ではなく、各層にとって安心できる、中道理念に基づいた現実的な政策です。エネルギー・環境リサイクル・医療関連等、産業の更なる充実を図り、日本をリードする拠点化を目指します。

政局より、政策を。国民の暮らしを第一に。

1. 原材料やエネルギー、食料品など、かつてない物価高にさらにされている地域の「暮らし」を強力に応援します。
2. クマ被害対策の強化・拡充をはじめ、経営困難な医療機関などを支援し、国民の「命」を守ります。
3. 賃上げ・雇用を中心とした経済政策を展開、中小企業支援や成長投資を進め、「賃上げ」を加速していきます。



緑川たかし

質問数・時間などで評価される三ツ星議員に選ばれ、質問時間では衆議院全体の2位(2019年通常国会)となりました。



第51回 衆議院議員総選挙

第27回 最高裁判所裁判官国民審査

2月8日

期日前・不在者投票は2月7日土まで

※国民審査は2月1日日から

秋田県選挙管理委員会・秋田県明るい選挙推進協議会

〒101-8570 秋田県秋田市山王四丁目1番1号 TEL:018-860-1145

秋田県選管

Q

Q



衆議院小選挙区
選出議員選挙
(秋田県第2区)

選挙公報

令和8年2月8日執行
秋田県選挙管理委員会

この先は、誰かじゃなく“あなた”が決める。

第51回 衆議院議員総選挙

第27回 最高裁判所裁判官国民審査

2月8日日

期日前・不在者投票は 2月7日土まで

※国民審査は2月1日日から



秋田県選挙管理委員会・秋田県明るい選挙推進協議会

〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1番1号 TEL:018-860-1145

秋田県選管

